

事業所における自己評価結果 児童発達支援（公表）

令和5年8月10日 実施 事業所名 児童発達支援センター ふれも 回収率 8/8 100%

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	2	・コロナ感染症が5類となった後も、感染予防対策のための、検温、換気、消毒等を十分に行うとともに、密にならないように工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	2	・適切な配置数かどうか常に確認し報告をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	・子どもが2階に上り下りする際は、大人が手を繋ぎ事故防止に努めています。 ・構造化された環境になるよう生活空間の工夫に心がけています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	・毎支援後、各部屋はアルコール消毒、換気を行います。コロナ5類以降は、マスク着用は利用者は任意としましたが、支援者は着用しています。 ・咳、熱、嘔吐、喉の痛み、鼻水等の症状がある場合、かかりつけ医への受診をお薦めしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	・支援の目的を共有し、PDCAを実施しています。（4月、10月、2月）支援者が定期的に事業所（個人も含む）の取組を振り返り、取組の改善を行うことで、意識向上を図っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	・療育計画を組み立てる中で、保護者との面接を行い、子どもの特性や保護者のニーズに応える計画づくりを進めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	・ホームページに本事業所に関わる、職員の自己評価表及び事業に対する保護者向け評価表を公開しています。 今後は、公表のお知らせやPRの仕方の工夫が必要と考えています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	・年2回第三者委員会を開催し、本事業所の業務（PDCA）について説明し、様々なご意見を真摯に受け止め業務改善につなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	・年間計画を立て、事業所内外の研修活動を充実させることで職員の専門性の向上に努めています。所内では週1回の研修を実施しています。（ABA研修・発達障害研修等）
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	・ケース会議で子どもの発達の状況や課題、保護者のニーズを分析し、アセスメントやモニタリングを実施して支援計画を作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	・子どもの状況に合わせてアセスメントツールを使用します。 他の専門機関からの結果（新版K式発達検査等）を提供している場合があります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	2	・ガイドラインに沿い本人、家族のニーズに応える取り組みの一環として、地域支援をおこなっています。必要に応じて、保育園や幼稚園、養、小中学校保護者や各公的機関と連携をとり支援しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	・支援計画に沿った療育を行っています。 ・保護者が支援に同席をし、支援後に保護者に利用者の様子や指導内容等を伝えています。 ・子どもの特性を把握するとともに、保護者の要望を聞き入れながら、より良い支援に努めています。

3	適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	・個別プログラムと小集団プログラムがあり、支援チームで月毎のテーマも入れた年間プログラムを作成しています。 ・子どもの特性に合わせての療育を心がけています。
		⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2	・年間プログラムを作成し、利用者の長期目的達成に向けて担当者で話し合い固定化しないように行っています。
		⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	・子どもの年齢や発達の状況に応じて、個別活動と小集団活動を組み合わせる計画を立てています。 ・保護者のニーズを受け止めて、児童発達支援計画を作成しています。
		⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	・充実した支援を行うために、療育の間の空き時間や職員の打ち合わせや療育の準備の時間を確保するように努めています。
		⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	・支援終了後には、必ず時間をとり反省や課題を探り、次の支援の計画づくりに役立てています。
		⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	・毎日療育終了後に記録をしています。また、記録については支援の検証や次に繋がるように心がけています。
4	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	・年2回以上のモニタリングを行い、保護者への説明を丁寧に行うとともに、保護者のニーズを確認しながら支援計画の見直しをしています。
		㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	・保育所、幼稚園等のケース会議には、場合によっては管理者、担当指導員等が参画しています。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	・母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携をとっています。
		㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	・基本的に事業所には親子での来所なので、保護者にケアをお願いしています。現在の所、医療的ケア児はいません。職員は保護者と連絡を密に保護者の意見に寄り添い療育を共有しています。必要に応じて、主治医等や関係機関との連携体制を整えています。
		㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	0	
		㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	・必要性に応じ、連携を取り合い対応しています。 ・保護者からの要請があれば、訪問相談として、保育所や小学校を訪問し、支援の在り方を協議しています。
4	関係機関や保護者との連携	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	・必要性に応じ、連携を取り合い対応しています。
		㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	・専門機関と連携をとり、積極的に外部の専門研修なども受講しています。 ・日程調整が難しかったり、時間調整できないスタッフとは、リモートやzoomでの研修をおこなっています。

この連携関係機関や保護者との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	・利用の子ども達は、通所する保育所や幼稚園、学校等で障害のない子ども達と普段から交流をしています。
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3	・自立支援協議会へ積極的に参加しています。本年度、児童支援部会事務局としての役割を果たしながら、他事業所との情報交換や療育の動向を把握し、子供たちが暮らしやすい地域づくりをしています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか	8	0	・利用者の療育時でも、面談や書面などで保護者と共通理解をもつようになっています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	・日々の様子を共有する中で、保護者の方の悩みや課題に寄り添うようになっています。今後は更に、保護者の育児力、対応力の向上を図る支援を充実させていきます。
5 保護者への説明責任等	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	・契約時に説明し、療育的な活動方針も伝えています。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	・児童発達支援ガイドラインについて保護者に説明するよう心掛けています。 ・児童発達支援計画を丁寧に説明し同意を得ています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	・事業所での対応、もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて話し合う時間も設けています。 ・保護者が気軽に相談できるように心がけています。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか	7	1	・年2回4月、12月に保護者会を実施しています。4月の保護者会はコロナ感染予防対策を行い開催しました。参加出来なかった保護者には会の内容を含め、ぶれもだよりにて理念やセンターでの活動の様子をお知らせしました。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	・事業所でも対応もしくは電話での対応体制を整備しているほか必要に応じて対面での時間も設けています。 ・申し入れがあった場合、職員間で発生原因と改善策を共有し、迅速に対応しています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	・月1回ぶれも便りを保護者に配布し、衛生面、健康面及びセンター等の様子をお知らせしています。 ・さくら連絡網でもメールで発信しています。
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7	1	・個人情報の取り扱いについては、十分配慮しています。
5 説明責任等への	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	・障害の特性を理解し、また保護者のもっている葛藤や障害児を受容することの難しさや日々の育児の困難さ等に配慮しつつ情報伝達をしています。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	・自治会に入会しています。 ・地区長とも地域の情報を共有しています。災害時等を含め地域の皆さんと連携を図り、交流機会検討を更に深めています。
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	・防犯マニュアルは、職員が周知し、発生を想定した訓練を実施しています。 ・緊急対応マニュアル、感染症対応マニュアルについても災害発生時における業務継続計画BCP(防災、衛生)を策定し職員間で共有しています。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	・月に1回は、職員個々の適切な判断を要求する避難訓練を実施しています。保護者や子どもも参加する時もあります。地震、火災、津波、台風、不審者侵入時を想定しています。

6 非常時等の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8	0	・入所時に子どもの健康状態や服薬等を保護者に確認しています。 ・必要に応じて保護者と連絡を取り合っています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	・現在、食物アレルギーの子はいませんが、医師の指示書に基づいて個別に対応します。 ・職員間で情報共有に努めます。入所時口頭及び書面で情報を得るようにしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	・ヒヤリハット記録用紙を作成し、職員で情報について共有し、事故防止を常に意識するようにしています。 ・定例会議にて問題点、改善点を話し合い共有し安全管理に努めています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	・療育時は基本は親子の参加であり、事業所独自の身体拘束はありません。虐待防止委員会を立ち上げ年間計画に沿って研修を進め、職員一人一人が意識向上に努めています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	・療育時は基本親子の参加であり、事業所独自の身体拘束はありません。 ・身体拘束についても虐待防止研修と共に事例を通して話し合っています。